

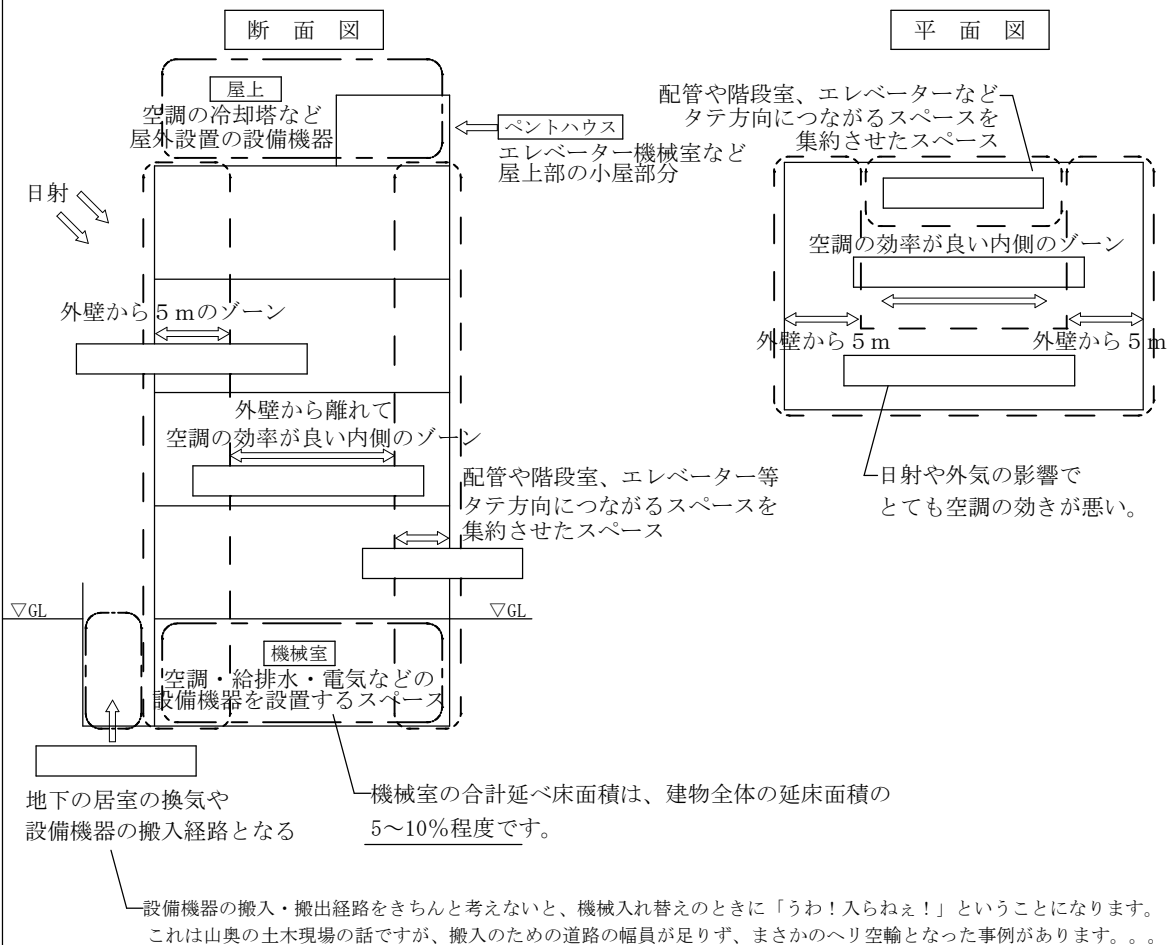
# 第1回 建築設備とは

## ～(3)建築計画と設備計画の関わり～

### 1. ゾーニングについて

建築設備を機能的に使うためには、建物内に効率よく配置する必要があります。どんなにかっこいい建物を作っても、空調が全く効かなかったり配管から水漏れするようでは残念です。鉄筋コンクリートの寿命はおよそ60年、それに対して設備機器は長くても20年です。傷めば新しいものに取り替えなくてはなりませんし、20年の間にも様々なメンテナンスを行わなくてはなりません。

下図は事務所ビルの断面図と平面図です。配置計画の基本となるゾーン分けをしますので、に各ゾーンの名称など、あてはまる言葉を記入して下さい。(教科書 P9、P10 を参照のこと)



### 2. 建物の長寿命化と建築設備の更新性

建築の長寿命化の観点から「スケルトン・インフィル」という考え方があります。スケルトン・インフィルとはどういうものか、「建築設備の更新」という言葉を入れて説明して下さい。(教科書 P18 を参照)

【ちょっと問題】 ホテルと百貨店、設備のための機械室を大きく取らなければならないのはどっち？

これは、教科書 P9～P13、P18 の掲載内容です。教科書を一読しておいてください。  
「第1回 建築設備とは」はこれで終了です。次の単元は、「第2回 給排水設備(給水設備)」(教科書 P22～)となります。